


真庭市議会議員 長尾 修 様

平成30年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 竹原 茂 

開催日時	平成30年5月16日(水) 19:00~21:00		
開催学区名	水田小学校区		
会場名	北房楽々デイホーム		
出席議員	班長 : 竹原 茂三 副班長 : 氏平 篤正 班員 : 岩本 壯八 大月 説子 岡崎 陽輔 長尾 修		
参加人数	9人(うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	小学校前の道路整備、宮地川の事について 個人の要望、自治会の要望、要望する人によって市役所の担当の対応が違うのはいかなるものか。	人によって対応が違うのはどうかと思う。	
質問	ふれあい広場の草刈り、清掃活動、庭木の管理。庭木の管理に15万円程費用が掛かっていると聞いている。桜だけ残して松など切ればお金がかからない。ふれあい広場は、学校の敷地内であるが、地域村づくりの人が草刈りをする事になっているが、遊具などの管理も含めて市の管理ではないのか？	どこの敷地なのか、管理がどうなっているのか教育委員会に聞き今後の方針も含め回答する。	
質問	耕作を放棄した人が市に相談に行ったと言っていたが、市に窓口があるのか？ 中山間地域は置き去りにされている感がある。	空き家対策と耕作放棄地をセットで考えることを農業委員会と検討すると市長が一般質問で答弁している。空き家については今年10月頃までに調査することになっている。相談窓口については返答をする。	
質問	北房小学校、こども園はいつになったら工事が終了するのか？ 車庫の前に横断歩道があるが、横断歩道の位置は検討しているのか？ 工事車両が優先か、子供が通学するのが優先か。「工事車両が通るのでどけてください」は可笑しいのではないのか？ 砂道があり、小さい子供には危険な場所がある。行政の気配りを願います。	8月には工事が完了すると聞いている。安全対策がどうなっているのか、教育委員会に聞いて回答する。	

<p>意見</p>	<p>人口減少が問題になっている。人口は減ってもゴミの量はかえって増える。連休とかがあれば空き家のゴミが出るので、ゴミの量は増えている。家に置いていたようなゴミが長期休みには一気に増える</p>	<p>人口減少について参加者と話し合いを持つ。</p>	
-----------	---	-----------------------------	--

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成30年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長)

竹原 茂



開催日時	平成30年5月17日(木) 19:00~21:15		
開催学区名	草加部小学校区		
会場名	大上公民館		
出席議員	班長: 竹原 茂三 副班長: 氏平 篤正 班員: 岩本 壯八 大月 説子 岡崎 陽輔 長尾 修		
参加人数	27人(うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	防犯灯は1基につき8,000円の助成がある。LED化の見積もりを取ると24,900円、業者もそれに合わせている。まとめて見積もりを取ると安くできる。鏡野町がしていると聞いている	鏡野町に聞いて調査すると返事をする。	班で回答する。
意見	避難場所について 草加部小学校浸水被害の危険性。家畜市場土砂崩れの危険。久世高校までは歩いていけない。いったん入った水は、外に掃けない。避難場所を近いところで考えてほしい。かつて、避難指示が出たことがある。雨が降ったらすべて溜まる。旭川に水が抜けない。大上橋、はま橋、久世大橋でつながっているため橋に何かあれば孤立する地域である。	心配があることがよく理解できた。執行部に伝える。	危機管理室に伝え、返事をする。
意見	寿和地区、公民館下の側面の補修をしてもらいたい。 ほうめん崩落の危険がある。昨年倒木があり神社の土地で地元ではできない。木が倒れたら危険、避難場所として使えるのか？ 緊急避難場所として大丈夫か答えをもらいたい。 要望書を出しているが答えはもらっていない。	執行部に話を伝える。	担当課より返事をしてもらう

意見	<p>人口減の中で、5年先10年先を市としてどう思っているのか。</p> <p>足元をみると空き家が増えて人口が減っている。</p>	<p>10年先では、学童が久世中は微小減、落合中は微増となっている。空き家の調査をして、使える空き家をUターンの方にある程度の畑や田んぼもつけて使えるようにと考えている。</p> <p>家が建っているところに都市機能を持たす。お店の誘致とか文化度を上げる。</p> <p>市としても人口減には力を入れようとしている。コンパクトシティ構想を持っているが、周辺地域も大切にと考えている。</p> <p>転入に力を注ぐ。総合的に考えないといけない。個人的にはライフワークで、空き家を貸していくように調整を進めている。地域ごとに考えて取り組みをしていかないといけない。</p>	
要望	<p>閉庁日に専門家と連絡が取れるようにしてほしい。民生委員をしていた時緊急に連絡を取りたいことが生じたが、宿直対応では対応が遅れたと思えることがあった。民生委員が活動に困らないよう、行政の専門の方が待機する体制を整備してほしい。</p>	<p>児童虐待については24時間連絡が取れるようになっていると説明。</p>	<p>担当者へ伝える。</p>
意見	<p>平成27年までは、敬老会のお土産は店屋が用意していた。その後は相談もなく振興局がお茶と羊羹を直接手渡している。事前に相談があってもいいのではないか。</p>	<p>地域の予算が一人当たりいくらと決まっており、お金は実行委員会に出しており使い道は実行委員会で決めている。</p>	<p>高齢者支援課に伝える</p>
要望	<p>財源がないと度々聞かされている。現状を把握して予算配分をしてもらいたい。地域の実情を把握していないと配分できない。</p> <p>市の遊休土地を処理して予算確保してもらいたい。高齢者が増えており福祉の充実に予算配分をしてほしい。</p>	<p>要望として聞かせていただくと回答する。</p>	
要望	<p>旧集乳所付近の農免道の舗装整備をしてほしい。小学校周りの舗装整備、拡幅をしてほしい。</p>	<p>要望書の提出をしていただくよう回答する。</p>	

<p>要 望</p>	<p>大上橋の老朽化で鋼材を積んだトラックが通り危ない。勝山の下水管が通っており耐久化について市役所は調べているのか。 久世大橋付近の大型車対策・交差点対策・荷重制限がなく市からの返事もない。</p>	<p>要望も含め持ち帰り、担当委員会を中心に調査して返事をする。と返事をする。</p>	<p>産業委員会で調査</p>
<p>要 望</p>	<p>災害用ステーション（災害用のバルク）をポイントになる避難場所においてはどうか。燃料が手に入らないときに、備品のストックと災害用のバルクが役立つ。自主防災組織は立ち上がっているが、何をすればよいのかわからない。</p>	<p>活動の手本となる所を危機管理課に聞いてお知らせする。 施設控除の問題。市としてどう対応できるか、意見として持ち帰る。</p>	<p>担当課へ伝える</p>

真庭市議会議長 長尾 修 様

平成 30 年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 竹原 茂 

開催日時	平成 30 年 5 月 18 日 (金) 19:00~21:00		
開催学区名	湯原小学校区		
会場名	禾津コミュニティハウス		
出席議員	班長 : 竹原 茂三 副班長 : 氏平 篤正 班員 : 岩本 壯八 大月 説子 岡崎 陽輔 長尾 修		
参加人数	18 人 (うち議員 6 人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	<p>報告会にかかる質疑 写真にトイレの設置 150 万とあるが、どうなっているのか。 自主防災組織に機材設置しているが、どう使えばよいのか、補助金をどのように使うことができるのか教えて欲しい。</p> <p>道路整備について(豊栄地区)周りの地権者の了解をもらっているが、又 0 からスタートになるのか。</p>	<p>小学校の一角にあり、マンホールの上に設置するようになっている。写真のトイレは、避難所となる小学校に校庭に埋められている。 危機管理課にスタッフがいるので、確認して連絡すると返答する。</p> <p>判定する中で、用地の有償、無償で点数がかなり違う。個々の印鑑はよいが、表の申請様式は書き直しが必要になると思う。 振興局から案内がある予定です。継続事業は別である。と回答する</p>	危機管理課に伝える
要望	市営体育施設の使用料について、ゲートボールをやっているが参加人数が毎回違うため 6 月からの方法では事務が非常に煩雑になるので今まで通りでやってほしい。	事務がそんなに煩雑になるとは思っていなかった。文教委員会で担当課に聞いてみる。と返事をする。	班で調査回答
要望	湯原庁舎について、大きな地震が来たら持たない。災害が起きた時には、職員が最後まで庁舎にいて陣頭指揮をとらなければならない。湯原ふれあいセンターにできるだけ早く移転した方がよい。人口減少の中で、災害が起きた時に機能が発揮できるように必要な面積は確保して早急に対応してほしい。	設計に入っている。出来るだけ早く、災害も考慮する。この意見を委員会で執行部に伝える。	

<p>要 望</p>	<p>消防分署がなぜ福祉センターになったのか。福祉センターには施設がある。議員は納得しているのか。湯原にはもっと便利な所がある。橋を拡幅すればいいのではないか。乳児検診ができないのではと聞いている。湯原つどいの広場は広い。消防署の場所移転を検討して欲しい。 消防署の移転については、要望書を出した。「意見を賜る、課題を検討する」と回答書をもらっている。</p>	<p>基本は、地域住民と消防署が検討したと聞いている。施設の利用に問題は無く、地域住民からの承諾は得られていると聞いている。総務常任委員会でも地域住民の合意は得られていると聞いている。利用制限はないと聞いている。意見が出たことを伝える。 真庭市の方針は、現在あるものを活用する方針であり、地元の意見は十分尊重する。と返事をした。</p>	<p>意見が出たことを担当課に伝える。</p>
<p>意 見</p>	<p>我が家の周りが猿だらけになっている。捕獲したら補助金が出るが、捕獲する方法がない。牧地区の猿の捕獲・駆除をお願いしたい。作物を作っても取られる、作るだけ無駄である。</p>	<p>猿は、防ぐことも、捕獲することも難しい。農業意欲低下が一番の問題。有効な対策がない。家の近くだと鉄砲というわけにもいかない。猿が分派していると思う。対策に苦慮しているのが現状である。</p>	
<p>意 見</p>	<p>蒜山の別荘の建築に10年関わった。浄化槽があっても十字屋との契約をしていない所がある。使わないとバクテリアが死滅する。悪質な人は、便槽を入れて地下浸透をしている所もある。環境汚染をチェックする体制が必要である。井戸への影響もあり大問題である。</p>	<p>蒜山の別荘1000件は下らない。放置もあり、固定資産税の回収が難しい、問題がある。建築許可の申請通り運用できているかチェックするように執行部に伝える。</p>	<p>担当課へ伝える。</p>
<p>意 見</p>	<p>耕作放棄地が多く災害が心配である。藤森地域では全部埋まったことがある。補助金、中山間地の規制緩和をお願いしたい。 土地・農地を活用して生活出来るすべを考えて欲しい。将来が不安である。</p>	<p>現在国の基本は、小規模農家にやさしいとは思えない。 農業技術職員がいない。営農指導員など少ない。</p>	
<p>要 望</p>	<p>昨年秋の災害で、禾津のきずなホール部分を災害復旧工事してもらおうように要望した。消防水利を兼ねているので水を止めて工事することは出来ない。漁業のことなどがあり、見積もりをする時点で地元の意見を聞いて欲しい。また大雨があれば、アユの稚魚が流れる。工事が延びて10月になった。災害への対応を早く、地元の意見を聞いて、延びることによって、工事代金が増えることが無いように。</p>		<p>担当課へ伝える。</p>

意見	<p>市民と語る会が出た意見を、議会で対応して解決した事例があれば教えて欲しい。林道が崩れ小さい穴があることを連絡した。早期に対応すれば少額で済むが、期間が延びることによって穴が大きくなり多額の費用が掛かる。早急に対応すべきと思う。</p>	<p>対応事例は、議会のホームページで公開している。1月の市民と語る会で、放課後児童クラブの事、医療関係者の外部流出について文教委員会で検討して政策課題として取り組むことにしている。障害者の就労支援については、市長に政策提言をして取り組むことになった。工事の対応については、意見をいただいて帰る。と返答した。</p>	
意見	<p>議員報酬、ボーナスの引き上げが必要。国会議員、県会議員の報酬を調査して、引き上げを検討したらどうか。報酬審議会にかけたらどうか。決して高いとは思わないが、定数が多いので定数削減して、報酬を上げたらどうか。</p>	<p>真庭市の議員報酬は、県下15市で15番目。全国813市で728番目。議員活動を活発にしている議員も増えている。65歳以上で年金をもらっている人はどうか両立できるが、子育て世代の人が議員になると生活できないと思う。報酬審議会は、市長の答申。2年に1回行われる。人口が減る周辺部の地域の議員が減る可能性もある。と返答した。</p>	